



みなさんの声、まっすぐ市政に届けます

物価の高騰や戦争への不安・東海第二原発再稼働など、
今私たちのくらしは大変になっています。

私は、元市職員としての行政経験を活かし、誰もが安心して暮らせる市政の実現に全力を尽くします。

みなさんの声をまっすぐ市政に届けます。

ご支援をよろしくお願いいたします。

なんでも
生活相談

日本共産党

Japanese Communist Party

市政・くらし対策部長

小室 さだお

市議選

2026年
7月

ラグビーに熱中した高校時代

小室さだお（貞夫）さんは、1957年旧美和村に生まれ、地元の小学校・中学校に通いました。高校は太田第一高等学校、1年間は美和から路線バスで玉川村駅に行き水郡線で通いました。2年生からはバイク通学です。



高校時代は、ラグビー部に所属し、関東甲大会にも出場しました。

積極的に組合活動

1980年に旧美和村役場に就職。2004年合併以降、本庁・緒川総合支所（当時）を経験しました。2018年に議会事務局長を最後に定年退職し、退職後は再任用職員として山方支所（当時）に勤めました。

小室さんは職員組合の執行委員長を歴任するなど、働きやすい職場や住みよい地域をつくるために力をつくしてきました。

人権、平和を守る活動等に積極的に参加

小室さんは、冤罪や弾圧被害者を支援する「日本国民救援会」の県本部常任委員や地元の「平和の会」の役員として人権や平和を守る運動の先頭でがんばっています。



職員組合を代表して挨拶



今市事件現地調査(左端)



平和行進(美和・緒川地域)

*小室さんは、「小中学校の給食無償化を求める常陸大宮の会」の代表として2,249人の署名を市議会に提出しました(賛成は共産党議員のみで不採択)。

■家族は妻と娘 ■下檜沢3929 電話・Fax 0295 (58) 3270

□1957年美和村生まれ。□地元の小中学校に通い、太田第一高校卒。□1980年美和村役場に就職。□2018年に議会事務局長を最後に定年退職。その後再任用職員等として働く。

新ひたちおおみや

号外 日本共産党常陸大宮市委員会発行 共産党の見解を發表します。
<連絡先>市委員長 金子卓 電話 0295-52-2422 Fax 52-2471
市議会議員 高村功 電話 0295-52-7640 Fax 51-3173

2026年版

くらし・福祉 最優先

次から次に物価があがり、暮らしが本当に大変です。日本共産党が総選挙で掲げた「富の一極集中」をただし大幅賃上げと労働時間短縮「タックス・ザ・リッチ(富める者に課税を)で消費税減税」の実現が求められています。

しかし高市政権は、「責任ある積極財政」の名のもと赤字国債の大量発行で異常円安をもたらし物価高騰に拍車をかけています。

私、小室さだおは長年の市職員の経験を生かし、くらし・福祉最優先の市政をめざして力いっぱい頑張る決意です。



侵略戦争を美化・正当化する「自由社」教科書

教育委員会の非公開の会議で「共同採択地区」を離脱し、全国公立中学校で唯一「自由社教科書」を採択しました。

明確な政治的意図をもった「教科書」を、子どもたちに使わせることは許せません。

小室 貞夫
さだお

期待の声

堀江 仙三
(元市議会議員)

豊かな行政の経験を生かして、市民の暮らし、平和と人権をまもる先頭に立って活躍されることを期待しています。

堀江 鶴治
(元市議会議員)

少子高齢化が進み、市民のくらしは本当に大変です。これまでの経験を活かし、市民の声が届く市政めざして活躍されることを期待します。

廣木 千加子
(秋田在住)

貞夫さんとは従姉妹で小さいころから良く知っています。この前の補欠選挙は残念でした。議員としてがんばってくれると確信しています。

相沢 静男
(諸沢在住)

「一人は、みんなのため、みんなは、目標達成のため」ラグビープレーの精神です。貞夫さんが市民のために活躍されることを期待します。

昨野 洋子
(上村田在住)

私も小室さんと同じ職場で働いていました。仕事も組合活動も一生懸命にがんばってきた小室貞夫さんに期待しています。

高村 功
(市議会議員)

私は議会で常に「市全体の均衡ある発展」を訴え続けてきました。行政のプロとして、周辺地域の声を届ける小室さんに期待します。

篠田 栄子
(上大賀在住)

「自由社」の教科書採択に議会一般質問で問題にしたのは共産党議員だけでした。元教師として、私は小室貞夫さんを応援します。

小室 咲枝
(鷺子在住)

私の夫とは同じ職場でした。何事にも真面目に取り組む貞夫さんを夫とともに応援していきます。

金子 卓
(元市議会議員)

議員在任中2年間いっしょでした。実に公正な事務局長でした。議会のことにも熟知している行政のベテランに期待します。

子育て支援 3つのゼロ

学校給食費ゼロ

子どもの国保税(均等割額)ゼロ

保育料(0~2歳児)ゼロ

高齢者 3つの安心

加齢性難聴者への補聴器購入助成

乗合タクシー・福祉タクシーの充実

介護保険料・利用料の軽減

地域の生活環境整備

安心して暮らせる生活環境の整備

高い国保税・後期高齢者医療保険料、水道料の引き下げ

基金の活用

何にでも使える市の財政調整基金は36億円(人口1人当たり金額比較で県内32市中上から3番目)で基金総額は77億円(R5年度決算)

消費税一律5%・インボイス廃止 平利が一番 改憲NO! 大軍拡NO! 医療改悪NO! 東海第二原発再稼働NO!

子育て世帯の経済的負担軽減のため学校給食費を無料化する自治体が全国で広がり、国もやっと2026年度から小学校を無料化することになりました。市は経費が少なくてすむので、中学校まで一気に無料化すべきです。

また、子どもが多いほど国保税が高くなる均等割額をなくし、3歳未満児の保育料も無料にするためがんばります。



加齢性難聴者への補聴器購入助成の実現に力をつくします。

乗合タクシーの土曜・日曜・祝日の運行、また福祉タクシー券の発行枚数の拡大にがんばります。

安心して介護保険が使えるように保険料・利用料の軽減を求めます。